

登米地域だより

R7年度 春号

登米の力

とめのちから



みやぎ地域づくり団体協議会登米支部・交流会を 開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

みやぎ地域づくり団体協議会は、地域づくり関係団体相互の交流や情報交換等を通じて、地域づくり活動の活性化を図ることを目的に設置されています。登米支部では、令和7年2月17日（月）に交流会を開催し、市内の民間団体及び関係行政機関が参加しました。交流会では、元地域おこし協力隊の千葉まゆみ氏による講演及びはっとづくり体験を行いました。

参加者からは、「千葉氏のこれまでの経験から現在に至るまでの取り組みや活動等を知ることができ、大変勉強になった」「はっとづくり体験を通じて交流を深めることができた」といった感想をいただきました。

当部では、今後も各地域づくり団体や行政と協働し、地域コミュニティの活性化等に取り組んでいきたいと思います。



はっとづくり体験の様子

DX先進企業見学会を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

令和7年3月7日（金）、DX先進企業見学会を開催し、登米市内企業の社員が山形県米沢市の企業を見学しました。見学先の三井屋工業株式会社東北工場は、自動車内外装品製造を行っており、令和4年に東北経済産業局主催の「TOHOKU DX 大賞」において、業務プロセス部門優秀賞を受賞しました。当日は、タブレットやスマートフォン等デジタルデバイスと連動した生産管理システムや、故障・不良の予兆管理や無人搬送車の導入など、スマートファクトリー化への取り組みについて説明いただきました。

参加者からは、DXやデジタル化に取り組むにあたって気を付けるべき点や社員への教育等について質問が挙がるなど、自社での取り組みを検討

するきっかけのひとつになったのではないかと思います。

当部では、引き続き登米地域の産業発展に向けた支援を行っていきます。



見学会の様子

登米市4Hクラブとは？

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

4Hクラブとは、将来の日本の農業を支える20～30代前半の若い農業者が中心となって組織され、農業経営をしていくうえでの課題解決方法の検討や、より良い営農技術を磨くためのプロジェクト活動等を行っている「農業青年クラブ」であり、昭和20年代に全国で組織化が始まりました。4Hとは、Head（頭脳）、Hand（技術）、Heart（心）、Health（健康）の頭文字をとったものであり、これらを磨くことを信条としています。

登米市は、宮城県北部に位置し東北でも有数の穀倉地帯であり、野菜・花き・畜産の経営体が数多くあるのも特徴です。こういった当地域において活動しているのが「登米市4Hクラブ」であり、昭和44年に現在の体制に近い形での活動が始まりました。近年の主な活動として、市内の耕作放棄地を復旧し、そこで野菜を栽培して販売する「耕作放棄地再生プロジェクト」、先進的な取

組を行っている生産者の経営を学ぶ「先進地視察研修会」、登米市の情報を伝える日常ラジオ「登米で会いましょう」の配信（Spotify）などを行っています。また、令和6年度には、全国の青年農業者が集う「全国青年農業者会議」において当クラブ員が自身のプロジェクト活動を発表する機会もありました。

自分たちの農業経営の活性化を目指しつつ、全国へ登米市の魅力を発信している登米市4Hクラブは今日も活動を続けています。



登米合同庁舎内販売会の様子

新規育種候補牛の集合調査会が行われました

宮城県東部家畜保健衛生所

登米和牛育種組合は、和牛の主産地である登米市で、地域の特色ある牛づくりを目指し、優秀な系統牛を育種牛として設定し、種雄牛造成並びに母体となる繁殖雌牛集団の整備、地域の核となる系統の造成に取り組んでいます。

近年の取組の成果として、「安百合幸」号（南方町産）、「勝茂桜」号（迫町産）、「茂勝久」号（豊里町産）が宮城県基幹種雄牛に選抜されました。また、平成29年の全国和牛能力共進会宮城大会第2区（若雌の1）で日本一となる優等賞1席を獲得した「さいぜんれつ」号は、迫町から出品されました。

育種組合では、登米地域の和牛改良の基礎とするため、登米牛としての特色を備えた優良な繁殖雌牛80頭を育種牛として認定しており、令和7年度の新規育種候補牛15頭のうち9頭を対象に、3月6日（木）JAみやぎ登米南方農産物集出荷場で組組合員など約30名参加のもと、集合調査会が行われました。

調査会では全国和牛登録協会宮城県支部の調査委員が、対象牛の体型審査や血統確認を行い、登米の育種牛として適格かどうか等を参加者で確認しました。

和牛の育種は、牛個体の能力だけでなく飼養者の協力も不可欠であり、地域全体としての取り組みが必要です。

家畜保健衛生所では、これからも関係機関と連携し、登米市の肉用牛生産振興を支援していきます。



調査委員による育種候補牛の体型と栄養度の調査

農業用の水路やため池で遊ぶことはキケンです！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

農業用の水路やため池での水難事故が多発しています。

子どもたちが水遊びや魚釣りに夢中になり、農業用の水路やため池に転落し、死亡する事故が後を絶ちません。新学期が始まったこの時期は、暖かい日差しを感じられるようになり、屋外で子どもたちだけで遊ぶ機会が増えますが、農作業が本格的に始まる時期でもあります。田んぼに水を張るために水路やため池の水量が多くなるので、水路やため池で遊ぶことは絶対にやめましょう。大人の皆さんは、子どもたちがフェンスなどを乗り越え、危険な場所に立ち入らないよう注意しましょう。

お互いが声を掛け合うなど、地域の力で水路やため池での水難事故を防ぎましょう。



水難事故防止用ポスター

★ため池事故防止・注意喚起動画（宮城県総務部広報課YouTube チャンネル）

<https://www.youtube.com/watch?v=EW0n3A5U6wU>

★水難事故防止用ポスターのダウンロード（宮城県HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonseisuinanjiko.html>

※公式InstagramとX「ほっとめーしょん」で

登米地域の“ほっと”な情報を発信中です※

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、

登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、

右記QRコードよりご覧ください！



Instagram



X (旧Twitter)

「令和6年度森林経営管理制度登米圏域推進会議」 を開催しました

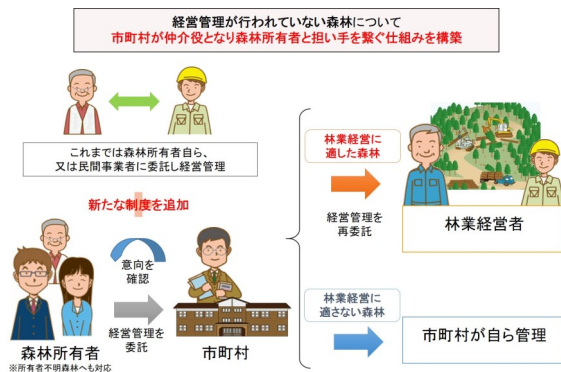
宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

令和7年3月17日（月）に登米市と登米管内の森林組合等を参集し、森林経営管理制度の推進を目的とした圏域推進会議を開催しました。

森林経営管理制度は、手入れされていない（経営管理が行われていない）森林について、市が仲介役となり森林所有者と担い手を繋ぐしくみです。市へ経営管理を委託された森林は、保育間伐などの手入れを行い、収穫できる森林へ育てた後、地元森林組合等が経営管理を行う予定です。

また、市へ配分される森林環境譲与税は、森林の手入れの他、林道の整備や木材利用推進、林業担い手育成など、地域の林業振興のために必要な事業に活用されています。

今回の会議では、令和6年度の実績と今後の事業予定について関係者間で検討・情報共有を行いました。今後も豊かな山を育てて行く予定です。



森林経営管理制度の仕組み（林野庁HPより）



会議の様子

「第48回全国育樹祭」の開催日が決定しました！

令和7年10月4日（土）：白石市・国立花山青少年自然の家

（内容）平成9年開催に現在の上皇上皇后両陛下がお手植えされた樹木に対する皇族殿下によるお手入れ行事。

令和7年10月5日（日）：利府町・グランディ21 せきふかふ・スパー・アリーナ

（内容）皇族殿下によるおことば、緑化功労者の表彰など。

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを全国に発信し、宮城県らしさ溢れる大会を目指します。今回開催される第48回全国育樹祭が、宮城県では初めての全国育樹祭開催となります。

みやぎ 2025
第48回 全国育樹祭
次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

全国育樹祭とは
継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため
毎年秋に開催されている森林・緑の祭典です

詳しくは
こちらのQR
コードから
ご覧ください！！



土木事務所の事業PR活動について

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

皆様のご理解とご協力をいただくため様々な方法でPRしています

東部土木事務所登米地域事務所では、登米地域の県道（一部の国道）や河川などの改良・改修事業や維持管理を担当しています。

当事務所が行う工事などでは、道路の通行規制を行ったり、工事現場が住居に近いために騒音や振動などの影響が出たりするなど、道路利用者や近隣住民の皆様にご不便などをおかけすることもあります。

そのため、事業説明会や工事看板の設置、工事中のチラシ配布などにより、地域の皆様へご理解とご協力をお願いしていますが、「工事がいつまで続くのかわからない」「何のための工事をしているのかわからない」などの連絡をいただくこともあります。

東部土木事務所登米地域事務所ホームページ

<https://www.pref.miyagi.jp>

■「H@！FM」によるPR活動

登米地域のコミュニティFM放送「H@！FM（はっとエフエム）」に出演し、当事務所が実施している事業や土砂災害防止の取組みなどのPRを行っています。

今年も第1回目を2月下旬に放送したところであり、今後も2カ月に1回のペースで、ラジオの前の皆さまに、様々な情報を発信していきたいと考えています。



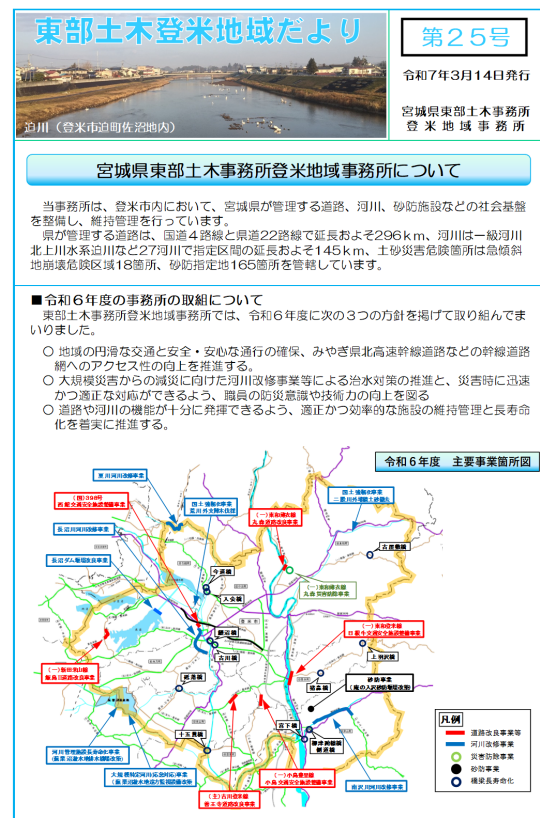
収録の様子

放送では、当事務所の職員とH@！FMのパーソナリティとの掛け合いにより、その時々テーマに沿った事業の目的や内容、今後の予定などを紹介しています。

同じ放送を3回放送しますが、聞き逃した方のために、過去の放送音声を当事務所のホームページで聞くことができます。

■「東部土木登米地域だより」発行

東日本大震災からの復興へのスタートの年である平成24年度から、当事務所の災害復旧事業や様々な事業を紹介する「東部土木登米地域だより第1号」を発行しました。今年3月に最新の第25号を発行し、登米市の各総合支所、道の駅など関係機関へ配布しました。



最新号（第25号）の表紙

今後も、地域の皆様のご理解とご協力をいただけるよう、事業のPRに努めてまいります。